

衆議院議員

浅野さとし

活動Letter
No. 9

発行：衆議院議員 浅野さとし 2018年7月号

この度の西日本を中心とした豪雨において被災された
皆様に心よりお見舞い申し上げます。

この度の西日本を中心とした豪雨において被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。
また、この災害によりお亡くなりになった方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

今、日本全国の人々が皆さんを助けるために行動を起こしています。国会も一丸となって、
被災地の一日も早い復旧とその後の復興をめざし迅速な災害対応に全力を挙げて取り組みます。
私たちが頑張ります。ともに、この苦難を乗り越えましょう。

浅野さとし

西日本豪雨災害復旧ボランティアに参加

国会が閉会した翌日から2日間（7月21日～22日）、事務所スタッフとともに広島市に入り、ボランティア活動に参加しました。

連日、気温が38度を超える酷暑の中、全国から多くのボランティアの皆さんが現地入りされています。国民民主党としても7月6日に党内に災害対策本部を設置。平行して個々の議員は各地で豪雨災害の被害状況を調査し、被災者支援の方策の検討とボランティア活動を行っております。



ボランティアに参加した国民民主党の皆さんと



土砂撤去作業の様子（左：浅野議員）

復旧にはまだまだ多くの人手、きめ細やかな行政の実態把握、そして国民生活に寄り添う支援が必要です。党を挙げて全力で支援活動に取り組んで参ります。

【プロフィール・略歴】

浅野哲（あさのさとし）。1982年9月25日生まれ（35歳）。青山学院大学大学院修了。

（株）日立製作所日立研究所研究員。日立労組研究所支部執行委員。大畠章宏衆議院議員秘書。

第48回衆議院議員総選挙において初当選。日立市在住。妻と娘の3人家族。

第196回国会、閉会 ～ 国民のための国会に ～

7月20日、第196回国会が事実上閉会しました。

働き方改革関連法案、TPP11、カジノ法案（IR）、そして参議院定数6増法案。皆さんの目には今年の国会はどう映ったでしょうか。

現政権に対する不信感を強めた方がいらっしゃるかもしれませんが、今の野党のあり方にご意見のある方もいらっしゃると思います。



上野駅前にて街頭演説する浅野議員

私自身、今国会では計11回の質疑に立たせていただきましたが、その中で、現在私たちが抱えている社会問題を、解決に向けて少しでも着実に前進させることの重要性を学びました。19日の参議院内閣委員会においてIR法案が採決された際に、矢田わか子参議院議員をはじめとする国民民主党が、なぜ歯を食いしばって採決に臨み、附帯決議を提出したのか。それは国会の外で、まさに現場で奮闘する方々にとって「役に立つ仕事をしたい」という想いがあったからです。

私たち政治家が守るべきものは、議員自身ではなく、所属政党でもなく、国民です。国民のための国会としていくためにも、共に活動する石上俊雄参議院議員、矢田わか子参議院議員、そして多くの働く仲間の皆さんとともに、全力で政府の中枢に意見を届けて参ります。

浅野議員が所属する党内の調査会について

国民民主党の中には、8つの調査会が設置されており、分野別に様々な政策議論がなされています。その中で浅野議員が所属する3つの調査会をご紹介します。

名称	活動内容	浅野議員の役職
エネルギー調査会 (会長：大野元裕 衆議院議員)	現実的なエネルギー政策の策定をめざし、省エネ化、再エネの普及促進、原子力を含め幅広く議論を行う。	事務局次長
税制調査会 (会長：古本伸一郎 衆議院議員)	暮らしの支えとなる税のあり方について方向性を示す。 (消費税、住宅ローン減税、自動車関連税、等々)	事務局次長
経済財政調査会 (会長：大塚耕平 参議院議員)	人生100年時代を見据えた、雇用・社会保障のあり方を示す。	幹事



皆さんの想いを是非、お聞かせください！

【浅野さとしからのメッセージ】

初めての通常国会が終わりました。国会が
できること、やらなければならぬこと、そして、もっと
戒めるべきことはい多くを感じた半年間でした。
この感覚を忘れず、次回の国会に活かしていきます。

浅野さとし

【連絡先】
衆議院議員 浅野哲 国会事務所
〒100-8981 東京都千代田区永田町 2-2-1 衆議院第一議員会館 406 号室

Mail : g17398@shugiin.go.jp
Tel : 03-3508-7231
Fax : 03-3508-3231